

いわき市石炭・化石館開館40周年記念

ぜんたんぱくけん

「全炭博研クラシック」

i n J O B A N

①全国石炭産業関連②博物館等③研修交流会

開催日時 2026（令和8）年1月22日（木）～25日（日）4日間

「全国石炭産業関連博物館等研修交流会（全炭博研）」は、全国の各産炭地をフィールドとして、石炭産業の歴史と文化を後世に伝える博物館や研究者・団体などの交流深化と自己研鑽を目的とする自主的な集まりです。博物館・資料館職員だけでなく、博物館と協働、地域おこし団体、あるいは自ら地域で石炭産業に関わる研究・教育普及活動に当たられている方、また小学校～大学の学校教員など広く対象としています。今年度は「炭鉱から観光へ」と様変わりする「フラシティいわき」、そして開館40周年の節目を迎えた「いわき市石炭・化石館」が所在する【いわき市など常磐炭田】で開催します。

研修・交流と🔥温泉と・・・皆様のご参加をお待ちしております。

常磐炭田の歴史 黒船来航・片寄平蔵石炭発見～フラガール・火力発電所まで



主催 「全炭博研クラシック i n J O B A N」 実行委員会

共催 NPO法人常磐炭田史研究会 いわきヘリテージ・ツーリズム協議会

後援 いわき市 いわき商工会議所 一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー

一般財団法人東部石炭懇話会

「全国石炭産業関連博物館等研修交流会」の開催について

2025（令和7）年10月

「全炭博研クラシックinJOBAN」実行委員会

■開催のご案内

今年度は10年ぶりに常磐炭田での開催。前回はいわき市石炭・化石館開館30周年記念の年でフォーラムのテーマは「炭鉱博物館の現状と将来」でした。今回も全炭博研の原点に立ち返り石炭産業関連博物館学芸員を主体とした相互の研修交流を「全炭博研クラシック」として実施予定です。常磐炭田最後の坑内掘り常磐炭礦(株)西部砒の閉山から早や50年、炭鉱世代は去り、炭鉱を全く知らない世代が大半、活字離れが進む令和、こんな時常磐炭田にある「いわき市石炭・化石館」、「みろく沢炭鉱資料館」、「菊池寛実記念高萩炭礦資料館」の役割は・・・？加えて14年前の東日本大震災時の原発事故から「フクシマ」となった福島県浜通り地区、炭田遺構や津波・原発被災地を見学しながら皆様といろいろ考えてみたいと思います。皆様のご来山をお待ちしております。

ぜんたんぱくけん

「全炭博研クラシック in JOBAN」

1. スケジュール

①1月22日（木）

- 14時30分 JR常磐線湯本駅集合 自家用車でご来山の方はいわき市石炭・化石館第二駐車場
湯本駅から会員車で参加者の荷物を化石館まで搬送。参加者は徒歩（15分）で化石館へ。
（常磐炭田史研究会・いわきヘリテージ・ツーリズム協議会）馬目・熊澤・菅野・川崎
- 14時45分 いわき市石炭・化石館コミュニティホール集合（午後より貸切）
今回の日程等説明（渡辺）。受付 常磐炭田史研究会 野木・渡辺
ネームプレートを机に並べ参加者自身が装着（イラスト炭鉱夫とフラガール、宿泊先記入）
- 14時45分～17時00分 自由見学 化石・恐竜（吽野） 模擬坑道（熊澤・菅野・川崎）
開催中の企画展「菊池正男絵画展」（渡辺文久）
- 17時00分～17時30分 湯本温泉宿泊者バスでスマレ館・こいとチェックイン
バスはUターンして化石館第二駐車場へ
- 17時40分 地元参加者化石館第二駐車場出発 古滝屋で宿泊者を乗せてハワイアンズへ
- 18時00分 ～20時過ぎ頃 ハワイアンズ宴会場で懇親会
冒頭「常磐炭鉱節」披露（湯本温泉芸の虫） 湯本温泉芸の虫6人の席用意
- 20時30分 グランドポリネシアンショー（指定席）終了後フラガールと記念撮影
- 21時30分～ 湯本温泉宿泊者及び地元組はバスで戻る（ハワイアンズ宿泊者なし）
- 22時00分～ スマレ館・こいと宿泊

②1月23日（金）観光バス借用

- 7時00分～ 朝食・弁当 スパホテルスマレ館
- 8時00分 大型観光バス 古滝屋第二駐車場（湯本温泉宿泊者）出発 ～で原発地域へ
身分証明書・所持品・服装など確認
- 9時30分 東電廃炉資料館（富岡町）
- 10時50分～14時20分 福島第一原発・エフワン（双葉町・大熊町）
- 14時40分～16時20分 東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）
帰りは常磐道利用
- 17時30分～スマレ館、こいと チェックイン
- 18時00分～19時00分 夕食 スパホテルスマレ館 フラガール関連スペシャルメニュー
- 19時00分～ 22時00分 勉強会 各地からの参加者自由発表 1人30分×8人
- ① 藤田龍星「戦時北海道の石炭輸送—釧路と室蘭の事例からみるエネルギー政策の限界—」
 - ② 渡部邦明「貝島炭鉱の石炭輸送鉄道と保存機関車」
 - ③ 田村 悟「炭坑救護練習施設の変遷について」
 - ④ 清水 拓「採炭係員（職制）の仕事—1990年代の太平洋炭砒の事例から—」
 - ⑤ 簡 嘉宏「台湾鉱業文化ルートの促進」※日本語通訳あり
 - ⑥ 前田和男「珍説？常磐炭坑節誕生物語」
 - ⑦ 福本 寛「軍需生産美術推進隊について」
 - ⑧ 佐藤真奈美「「生きている炭鉱遺産」旧夕張市営宮前浴場の復活に向けて」
- 22時00分～ フリータイム スマレ館・こいと宿泊

③1月24日（土）観光バス借用

- 7時 朝食 スパホテルスマレ館 終了次第古滝屋第二駐車場へ移動
- 8時30分 古滝屋第二駐車場にてバス乗車出発

いわき市石炭・化石館開館40周年記念

「全炭博研フォーラム in JOBAN（三部構成）」

第一部 常磐炭田内郷地区炭鉱遺産～事業所巡検

- 9時00分～9時40分 常磐炭礦(株)内郷砒中央選炭工場、水中貯炭場、住吉一坑坑口、
扇風機上屋（案内 いわきヘリテージ・ツーリズム協議会） 全員で記念撮影
- 10時10分～ (株)常磐製作所工場内 重厚な木造工場と上部を走る門型クレーン
旧坑口 大煙突 ガソリンカー車庫見学
- 11時10分～ みろく沢炭砒資料館 石炭燃やし及び資料館見学
- 12時00分～ バスでいわき市石炭・化石館へ（ウッドピア）

12時00分～13時00分 ウッドピアで昼食（弁当）～休憩・売店（おみやげ）

第二部 一般市民も参加、公開シンポジウム

13時00分～13時30分 いわき市石炭・化石館（ウッドピア）一般客受付開始、入場

受付担当 NPO法人常磐炭田史研究会

時 間 内 容

司 会 馬目太一 NPO法人常磐炭田史研究会事務局長

① 13時30分～13時35分 開会の挨拶 石川孝織（全炭博研 会長）

② 13時35分～13時45分 歓迎の挨拶 いわき市長 内田広之氏（副市長の予定）

③ 13時45分～14時30分 基調講演 「炭鉱、石炭、常磐炭田の時代を後世へ」

—歴史性や地域性と絡めて、次世代に伝える手法を考える—

講師 小宅幸一（NPO法人常磐炭田史研究会 副会長）

休憩・会場設営 10分

④ 14時40分～17時30分 パネル・ディスカッション（各博物館学芸員持ち時間20分）

テーマ 「常磐炭田における炭鉱文化の伝承」

進 行 嶋崎尚子 早稲田大学文学学術院教授（JAFCOF）

パネラー 渡辺文久 いわき市石炭・化石館（本州・常磐炭田）

渡辺秀峰 みろく沢炭鉱資料館（本州・常磐炭田）

菊地啓正 菊地寛実記念高萩炭礦資料館（本州・常磐炭田）

福本 寛 田川市石炭・歴史博物館（九州 筑豊炭田）

石川孝織 釧路市立博物館（北海道・釧路炭田）

⑤ 17時30分～17時35分 閉会の挨拶 実行委員会委員長 野木和夫

終了後全員で片付け、勉強会会場 スミレ館に移動

18時00分～19時00分 スミレ館にて食事（いわき湯本温泉「わ可ば」の仕出し弁当）

第三部 常磐炭田地域活動五団体報告会

19時00分～22時00分 地域活動5団体報告（各団体30分 進行 野木・渡辺文）

*いわき地域学会（夏井芳徳代表監事） *内郷内町町内会（馬目太一会長）

*いわき歴史文化研究会（渡辺文久会長）

*いわきヘリテージ・ツーリズム協議会（菅野昭夫事務局長）

*NPO法人常磐炭田史研究会（野木和夫会長）

各団体は事情により変更する場合があります。

22時00分～ フリータイム スミレ館・こいと宿泊

④ 1月25日(日) 最終日

- 7時00分～ 7時40分 朝食(スパホテルスマレ館)
7時50分 各自チェックアウト 地元組も8時までスマレ館へ
8時00分～ 9時20分 いわき湯本温泉講座 場所 スパホテルスマレ館
① 「炭鉱と温泉の歴史」講師 里見喜生(40分)
② 「炭鉱の思い出と童謡館」講師 九頭見淑子(40分)
9時20分～ 11時00分 いわき湯本温泉町なか巡検(希望により2班に分ける)
コース 温泉神社、簡易軌道跡、簡易軌道トンネル跡、童謡館
(希望者のみ) 旧戸部炭鉱鉱業所長宅見学(辞令や写真、資料等展示)
11時00分～ 12時00分 バスにて高萩へ移動(バス内で昼食)
12時00分～ 12時40分 ① 菊池寛実記念高萩炭礦資料館見学
12時50分～ 13時40分 ② 炭鉱王 菊池寛実の生涯 講話
13時40分～ 14時00分 ③ その他 連絡事項など(大人数の場合はバスの中で)
14時30分 バスでJR高萩駅へ～駅前で解散(14時50分品川行特急ひたち)
解散後、地元組及び自家用車組はバスでいわき市石炭・化石館へ戻る
16時00分 実行委員会、反省点、金銭や荷物チェック等情報共有して解散

以上

全炭博研クラシックinJOBAN実行委員会

- 委員長 野木和夫 NPO法人常磐炭田史研究会会長
副委員長 里見喜生 いわきヘリテージ・ツーリズム協議会会長
若松貴司 いわき市石炭・化石館館長
馬目太一 NPO法人常磐炭田史研究会事務局長
事務局長 渡辺文久 いわき市石炭・化石館学芸員
事務局 NPO法人常磐炭田史研究会
いわきヘリテージ・ツーリズム協議会
いわき市石炭・化石館

全炭博研開催状況

回	開催期間	開催地	自治体名	参加者数	備考
1	2011. 10. 22～25	釧路炭田	北海道 釧路市	14 名	
2	2012. 11. 23～26	崎戸松島・高 島炭田	長崎県 長崎市	22 名	
3	2013. 11. 22～25	筑豊炭田	福岡県 田川市他	36 名	
4	2014. 10. 18～21	常磐炭田	いわき市 北茨城市 高萩市	55 名	
5	2015. 10. 16～20	三池炭田	福岡県 大牟田市 熊本県 荒尾市	60 名	
6	2016. 10. 21～24	石狩炭田	北海道 夕張市他	44 名	
7	2017. 10. 20～24	宇部・大嶺 炭田	山口県 宇部市他	61 名	
8	2018. 10. 19～22	韓国 江原道	江原道 太白市他	42 名	参加者数に 韓国側参加 者を含まず
9	2019. 10. 25～29	釧路炭田	北海道 釧路市他	—	
	2020～2022コロナ禍で中止				
10	2023. 2. 4～5	東京 (オンライン)			
11	2024. 1. 25～23	台湾	新北市 平溪区他		
12	2024. 11. 15～19	佐賀・長崎	唐津市 長崎市		
13	2026. 1. 22～25	常磐炭田	いわき市 北茨城市 高萩市	55 名	